

の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 月額を決める根拠は労働時間ではなかったか

答 嘱託員の関係は月の勤務時間は4時間減るが月額で支給をしていることから、都の勧告によりそうさせていただいた。

問 4時間が現場ではどのような影響をもたらすのか。どうフォローするつもりなのか。

答 休憩時間が1時間になったという事で、今まで8時間勤務していたのが7時間45分になるだけで影響はない。

ただ日によって6時間とか5時間で勤務をして、月128時間の嘱託員は4時間減るので、よく調整し対応していただく。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

◎平成21年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(総務文教委員会所管分)

問 都補助金の500万円の内容について

答 市の申請による額だが、事前に都からふるさと雇用で3年間で150

0万円、緊急雇用で3年間で2000万円という額が示された結果である。

問 雑入の市税等滞納処分費76万8000円が歳入にあるが、なぜ過払金が出たか。雑入がこれだけだという説明を。

答 過払金の返還請求権を市が差押えをし、貸金業者に返還の請求をしたものである。歳入はこの滞納者が過払金の中から弁護士費用等の滞納処分費を引き、その余った金額から市税に充当していただくことになっている。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

◎訴えの提起

問 もう1件のエイワを議会にかけない理由は。

答 第180条で、議会の委任による専決処分という中で、市がその当事者である訴えの提起で、その目的額が100万円以下のもとなっており、専決処分をさせていたのだ。債権の金額は39万2878円に年5分の利息をつけたものである。

答 この事業は小学校に生活指導推進員を配置するもので、報償金の1000円×4時間×8人は登校支援活動に当たる方々を想定をしている。

3500円×8時間×7人は小学校に配置する生活指導推進員で、週8時間、小学校7校に配置し時給が3500円である。

不登校の状況は小学校が平成20年度は0.8%で、19年度より若干上がっている。中学校では逆に平成20年度は107名と19年度より12名減少している。21年度は事業の活用による成果が出るのではないかと期待している。

問 歴史的・民俗文化資料整備委託料だが、その内容は。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

問 昭和50年代頃から農家を廃業された方から農機具、養蚕用具、生活用具ですべてご寄附をいただいたものである。

◎訴えの提起

問 もう1件のエイワを議会にかけない理由は。

答 第180条で、議会の委任による専決処分という中で、市がその当事者である訴えの提起で、その目的額が100万円以下のもとなっており、専決処分をさせていたのだ。債権の金額は39万2878円に年5分の利息をつけたものである。

答 この事業は小学校に生活指導推進員を配置するもので、報償金の1000円×4時間×8人は登校支援活動に当たる方々を想定をしている。

答 市の申請による額だが、事前に都からふるさと雇用で3年間で150



東京国体ホームページ

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、また一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱いなどを協議したり、また議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

特別委員会活動がら...

CO2削減特別委員会

6月12日にCO2削減特別委員会が開催されました。初めての特別委員会であり、今後の進め方が焦点となりました。

福生市としてのCO2削減に対する取り組み経過および福生市のCO2排出量の現状についての説明がされました。



CO2削減特別委員会

⑦福生市地球温暖化対策実行計画進捗よく状況について

特別委員会の今後の進め方について協議を行いました。当委員会は建設環境委員会との役割分担を行い、範囲が広がらないよう注意し、CO2削減に向けた研究・調査を行う。委員一人一人が情報収集に努め、情報は共有する。知識を高めるため研修会等も積極的にを行い、市内のエコライトハウス事業についても視察をする。調査研究したことを最終的に提言・報告書としてまとめる等の方向性を見出しました。今回は、CO2排出について過去の詳しい分野別状況が提出予定なので個人削減するのか研究に取り組み予定。

横田基地対策特別委員会

6月12日に委員会が開催され、6件の事項の協議をいたしました。

- ①横田飛行場周辺対策等要望事項については、防衛補助事業の要望として、第一中講堂防音、第五小の防音機能復旧事業、市道幹線II-18号線の改良
- ②横田基地内火災等については、基地内での火災に関する最終報告書が在府へ提供されるが、時期は未定との報告。
- ③横田基地友好祭に伴う自由広場の貸出しについては、昨年同様に観光協会に貸出したとの報告。

編集後記

百年に一度の経済不況のなか、新型インフルエンザのフェーズが最高位置まで上がり、何かとあわただしい昨今、議会では第2回定例会が開会されました。

少しでも市民の方に身近に市政のことを感じていただくためにインターネット中継を導入して何とか形になってきました。そこで、質問席からの一般質問においてパネルや資料、現物の野菜などの持ち込み提示についての申し合わせをして次回定例会よりわかりやすい質疑を推進していきます。

一般質問の方法も試行していく中で、次回定例会より次の3形式の選択制を取ることにしました。①一括方式・従来通りすべての質問項目を一括して質疑を3回行います。②混合方式・初めに全項目質疑を行い、2回目以降は大項目単位で質疑応答を行う。

③一問一答方式・初めから項目単位で3回の質疑応答を行う。この③を新たに導入することにより、より分かりやすい議会にしていきたいと議会運営委員会が決定しました。是非とも傍聴に来ていただきますようお願いしております。

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成21年度においては、次の方が表彰されました。

- 議員30年以上 小野沢久議員
- 議員10年以上 高橋章夫議員
- 原島貞夫議員